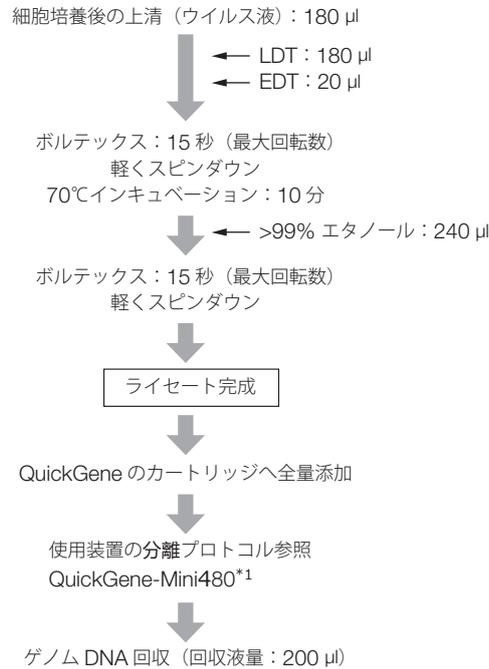


DH-2

ヒト単純ヘルペスウイルス1型 (HSV-1) ウイルス液からのゲノムDNA分離

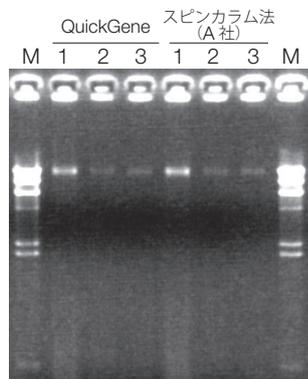
プロトコル



*1 本事例は日機種で取得したデータも含まれます。その他QuickGeneシリーズでもこのプロトコルをご参照頂けます。

結果

電気泳動図



電気泳動条件 : 1.5% アガロース / 1 × TAE

M : λ -Hind III
 1 : No.1 VR3 (野生株)
 2 : No.2 d41 (UL41 欠損変異株)
 3 : No.3 d13 (UL13 欠損変異株)

分離したゲノム DNA に分解は認められなかった。

ゲノム DNA の収量

サンプル	No.1	No.2	No.3
QuickGene	324 ng	32 ng	51 ng
スピнкаラム法 (A社)	351 ng	36 ng	40 ng

タンパク質の混入 : A260/280

サンプル	No.1	No.2	No.3
QuickGene	2.23	2.01	2.14
スピнкаラム法 (A社)	1.98	2.41	1.92

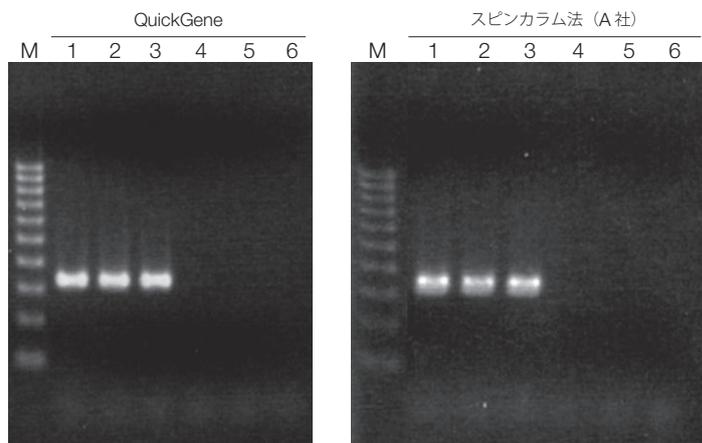
カオトロピック塩の混入 : A260/230

データなし

■ その他

● PCR

QuickGene システムおよびスピンカラム法 (A 社) を用いて HSV-1 遺伝子から分離したゲノム DNA で、HSV-1 遺伝子の検出を、HSV-1 に特異的なプライマーおよび HSV-2 に特異的なプライマーを使用した PCR により行った。



電気泳動条件：2% アガロース / 1 × TAE

M : 100 bp DNA Ladder
1 : No.1 VR3/HSV-1 プライマー
2 : No.2 d41/HSV-1 プライマー
3 : No.3 d13/HSV-1 プライマー
4 : No.1 VR3/HSV-2 プライマー
5 : No.2 d41/HSV-2 プライマー
6 : No.3 d13/HSV-2 プライマー

いずれのゲノム DNA からでも PCR 産物を検出できた。

■ 共通プロトコルサンプル

データなし